

川と子供が 僕の先生

小説家
阿部 夏丸 氏



教育随想



月報
岡崎の教育

平成 28 年 8 月 1 日

8 月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
小説家	
阿部 夏丸氏	
この人に聞く……………	2
日本体育大学 駅伝部コーチ	
早川 智浩氏	
羅 針 盤……………	2
竜美丘小校長	
水野 昌孝	
ふれあい……………	3
美川中	
山崎 留美	
特 集……………	4
おかざきっ子が活躍する吹奏楽	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
着衣泳 (平成 3 年)	
この本を……………	8

子供たちとの川遊びを何年もやっている。数えてみたら、一緒に遊んだ子供は年間二千人を越えていた。

「遊び」が目的なので、環境学習の空気は出さない。水質問題やら、ゴミ問題やら、外来生物問題やら、そんなものはすべて大人の問題で、子供の問題ではない。僕が子供たちと共有したいのは、いかに地元（ふるさと）の川が面白く、生きものがしぶとく生きているかという事実だ。

先日、知立の小学校へ行った。四年生一〇人で捕まえた魚はたったの一四匹だったが、驚くことに、そのうちの半分、七匹が一〇〜六〇センチのウナギだった。

「すげー、天然ウナギだらけじゃん」
これには、子供より先生や通りすがりの大人たちが驚いた。

「この糸みたいなウナギはさ、マリアナ海溝で生まれ、一年かけてここまで泳いできたんだぜ」



子どもたちの目がかがやく。

「ちっちゃいけど、すごい！」

「この川、海に繋がっているんだ」

よく気がついた。それが正解。

「今日捕ったメダカもウナギも絶滅危惧種。だからといって「いない」なんてのは思い込み。川に入れば、ちゃんといるだろ。それから、この

スッポンもウナギも高級食材。食べ

たかったら、また川に来い（笑）」

「あの……、この前、学校の花壇に

これと一緒にカメラがいたんだけど？」

「すごい、大発見。そのカメラは一所

懸命歩いて卵を産みにいったんだぞ。

学校の花壇から子ガメが出てくると
想像してみろ……、ゆかいだろ」

「うふふふ。毎日、見張ろかな」

川と海がつながり、川と食卓、川と学校がつながった。

『自然』も『命』も決して守るものではない。肝心なのはつながること。そうしたつながりは、理屈ではなく関わることで見えてくる。

だから遊べ。だって大人より子供のほうが、うんと野生（原始人）に近いんだから。教えることは何もない、川と子供が僕の先生だ。

（あべ なつまる）



本気が変える人生

日本体育大学 駅伝部コーチ

早川 智浩 氏

「本気で練習しないやつを、選手にはしない。」

中学二年の西三河駅伝大会を間近に控えたある日、顧問だった恩師に言われた言葉が心に突き刺さった。適度に練習をこなしていれば、選手になれる、そんな甘い考えはその瞬間に打ち砕かれた。次の日から、練習の景色が変わった。

「考えが変わると、見えるものが変わる。それまで見ていたのに見えていなかったものが見えるんです。真剣な眼差しでひたむきに走り続ける先輩や、声を枯らして声援し、互いを鼓舞する仲間たち。そのときからですね、自分が駅伝に対して本気になったのは。」

三年生で主将となり、西三大会、市民駅伝大会で優勝するまでにチー

ムをまとめた。

「高校進学後も全国入賞を経験し、日体大に進学して、一年生で箱根の七区を走ることができ、苦労はありましたが順調な選手生活でしたね。」

しかし、箱根駅伝直後にひざの故障という大きな試練にみまわれる。

「走れなくなると同時に、それまで当たり前だったものがどんどん離れていくように感じました。人、評価、応援。治らない故障に焦り、孤独にさいなまれ、自分を追い込み、一時は円形脱毛症になりました。競技を捨てようと岡崎に戻ったとき、変わらない温もりがそこにありました。両親、恩師、仲間が、笑顔で迎え、共に時間を過ごしてくれました。」

もがきながらも、三年生では副主将を任せられ、有終の美へ向かってギアを入れた。しかし、その年の箱根駅伝は十九位と、惨敗を喫する。直後、監督から「来年度の主将は新三年生でいく」と宣告を受けた。

「目の前が真つ暗になりました。呆然と数日間を過ごした後、このままではいけない、もう一度初心に戻り、本気で今の自分を変え、当たり前前のことを徹底しようと決意しました。

心を込めて挨拶をする。時間を守る。掃除を真面目に行う。そして全ての練習に対し、真剣に臨みました。自分だけでなく、四年生の仲間にも声を掛け、共に徹底しました。」

一年後、見事箱根総合優勝を果たす。しかし、自身は登録されながらも前日に起用されないことを告げら

れ、サポートとしての参加だった。

「死ぬ気で努力をしました。でも、個人としてはだめだった。その悔しさは今も消えませんが。しかし、あの経験のすべてが自分を人として成長させてくれたと、今なら言えます。『あのころには見えなかったものも見えるようになった』と。」

競技者として「天に昇る思い」と、「地を這う思い」を知った彼に、この春、大学の指導者にと声が掛かった。

「学生たちには、選手として、という前に、人としてどうあるべきかを伝えていきたいですね。結果至上主義ではなく、一生懸命であること、本気になることこそが尊いんだと。」

共にグラウンドを走りながら、若き指導者は今日も熱く学生に語りかける。

「努力をすれば必ず結果が出るわけではない。でも、必ず何かをつかむことはできるはず。つかむことができるまで、本気になれ。」



氏名 はやかわ ともひろ
 生年月日 平成二年四月二十五日
 住 所 神奈川県横浜市



竜美丘小のいじめ防止対策

竜美丘小学校長

水野 昌孝

いじめ防止対策推進法が、平成二十五年九月末に施行となり、各小中学校で「いじめ防止基本方針」を定めることが法令で義務づけられた。

本校の基本方針の柱は、いじめの指導についての共通理解、早期発見のための措置、相談体制の整備、絆づくりの推進、重大事態への対応組織とその手順等からなる。

その中でも、次の三つを大切にしている。

第一に、具体的な「いじめ」についての指導は、決して学級指導や学年集会等の一斉指導で行わないことである。これは「いじめっ子」「いじめられっ子」という誤った認識をさせないためである。指導は、トラブルに関係する児童に対しての丁寧な個別指導を原則としている。

第二に、発達過程にある児童のト



信じ続ける心

美川中 山崎 留美

「なんで俺だけ」何かにつけ、この言葉を吐き捨て、教師に反発していた一年生のこのA男。彼の根底にある大人との信頼関係の薄さが、この言葉にすべて映し出されていた。

二年生になり、彼の担任をするこ
とになった。彼は頑張る気持ちとは裏腹に、つまらないことで叱られてしまうことが少なくなかった。私は、彼に「なんで俺だけ」と言わせない信頼関係づくりを心掛けた。彼とのかかわりの中で見えてきたのが、彼は仲間を大切にするといいことだ。叱られるような同じことをしていた仲間の名前は、絶対に口にしない。それが彼の正義だった。だからこそ、彼の周りに意識的に目を向け、全員を平等に見て、平等に叱る。そして何より、平等に褒めてやることを大切に一学期を過ごした。そうする



ことで、「先生は、ちゃんと俺らを見てくれている」と彼から自分に話しかけてくるが増えた。
二期初め、A男に声をかけた。
「応援リーダーを、A男やつてみない。あなたの人を引き付けて行動する力は、本当にすごいから。」

A男は「まじで」と驚いていたが、仲間を大切にできる彼ならできるのではないかと私は信じた。戸惑う返事をしながらも、彼は応援合戦のリーダーに立候補し、最優秀賞へ導く存在となった。級友への声掛けはかなり荒々しかったが、彼が一生懸命であることがクラスを動かす力となった。「A男のおかげだよ」と伝えると、「だよね」と嬉しそうに笑った。

また、合唱コンクールで、彼はパトリリーダーに立候補した。やる気に

は満ちているものの、練習は必ずしもうまくいくものではなかった。うまくいかない、簡単に暴言という形になる。

「もう歌わん。」
「わかる。それだけ思いがあるからだよね。」

私は、その都度そばにいて。彼に言葉をかけ、共感しながら彼のやる気のベクトルを整え続けた。そうすることで彼の仲間への思いが行動として表れた。

不登校のB男が遅れて学校に来れば、誰よりも早く迎えに行き教室へ迎え入れた。なかなかすんなり練習に参加できない彼に「ここで聴いてろ」と言って仲間としての居場所を与え、心を引き寄せていった。

本番当日、ぎりぎりやってきたB男に「よく来たな」と、背中をポンと叩き、彼の手を引いて舞台上に上がった。教室に戻るとA男は、

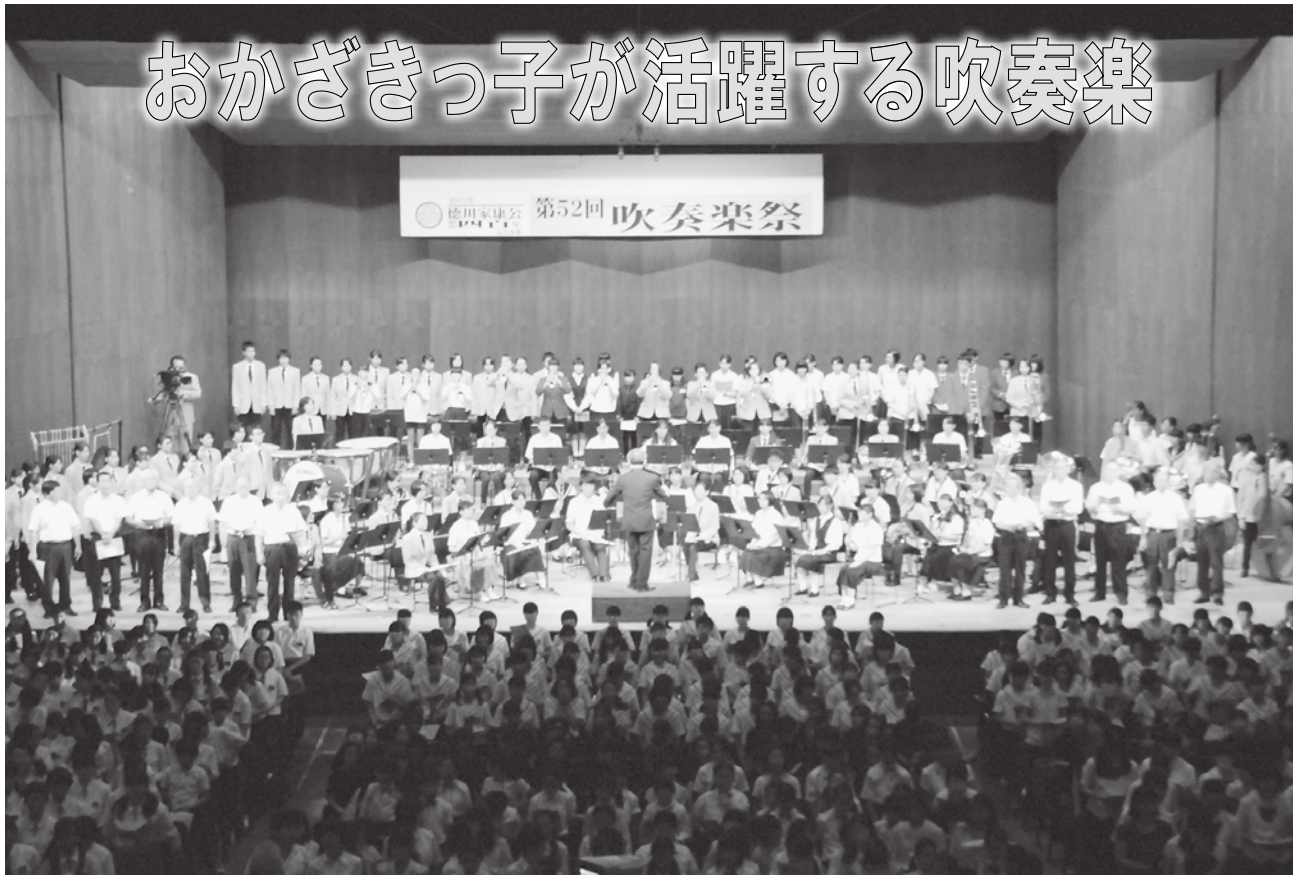
「自分を成長させてくれたこのクラスの仲間と全員で舞台上に立てて本当によかった。」
と泣きながら私に語った。

A男との関わりの中で、その子の力を信じて寄り添うことができるかどうかで、その子どもの生き方さえ変わってしまうのだということを目の当たりにした。一人一人の思いを大切に向き合っていきたいと強く思った。

に立ち、早期発見の手だてを講じることである。具体的には、毎学期、いじめアンケートを実施し、それを基に、担任がすべての児童に対して個別面談を十日間かけて行う「相談旬間」を設けている。さらに、学級満足度と学校生活意欲度を測る「Q-U検査」を実施し、児童の心の健康状態を客観的に把握している。

第三に、絆づくりの推進を図ることである。子供同士で仲間をつくって遊ぶことが少なくなり、ゲームが遊びの中心となった子供たちは、ちょっとした友人関係のトラブルで、深刻な事態を招くこともあるという認識に立って指導する時代と考えている。ゆえに、多くの人との交流を通して、コミュニケーションの能力を育て、ふれあいの楽しさを感じさせる場を位置づけている。例えば、開校四十周年事業として、「いじめ撲滅集会」「力士と相撲を取ろう」「遊んで学んでフェスティバル」等の企画がある。また、フレンドシップ事業として、愛鳥集会、ミカン狩り等。学級づくりにも、構成的グループエンカウンターを取り入れたり、道徳科の授業研究を推進したりしている。

結論としては、第三にあげた人間関係を結ぶ能力の向上と、心の適正な発達を促すことが、いじめ対策の根幹と考えている。



▲ 家康公顕彰四百年記念吹奏楽祭において、百年の時を越えて合唱奏された「葵の誉」（平成27年）

運動会や各種イベントを盛り上げる吹奏楽の演奏は、私たちにとって身近なものである。目標にむかって懸命に練習に取り組む吹奏楽部員の姿が、各学校においても多く見られる。また、地域の行事に積極的に参加し、地域の方との交流も大切にしている。

岡崎市で吹奏楽が広まり始めたのは昭和三十年頃だと言われている。昭和三十九年、第一回吹奏楽祭が、連尺小学校の体育館にて、十校程度の演奏で始まった。五十二年たった今、参加校は四十三校、出演者は二十人にもぼる。近年では様々な企画が催され、子供たちが世界的な音楽家による指導を受けたり、昔から岡崎に伝わる音楽に触れたりする貴重な機会にもなっている。

十二月には、市制百周年を記念し、公募により、結成された小中学生の演奏団による演奏会も開催される。吹奏楽などの音楽を通じて、岡崎の子供たちに豊かな心が醸成されることが期待される。

おかざきっ子の吹奏楽のあゆみ (抜粋)



▲ 第5回吹奏楽祭(昭和43年)



▲ 桜まつり鼓笛隊パレード(平成3年)

- 昭和36年 ・ 市内中学校・高校の吹奏楽の指導者が集まり、岡崎市スクールバンド協議会が発足し、岡崎の子供たちが、一堂に会して演奏するようになった。
- 昭和37年 ・ 桜まつりパレード、市民体育祭など市内の各行事に参加するようになった。
- 昭和39年 ・ 第1回吹奏楽祭を連尺小学校体育館にて開催。以降、毎年秋に開催される発表の場となった。
- 昭和48年 ・ 第1回岡崎のハーモニーにて、市内中学校の合同バンドが演奏した。
- 平成25年 ・ 第50回記念吹奏楽祭でヤン・ヴァンデルロースト氏の指導を受け、同氏作曲「リクデウム」を演奏した。
- 平成27年 ・ 家康公顕彰四百年記念吹奏楽祭において、「徳川家康・本多忠勝公三百年記念祭」式典歌「葵の誉」を、百年の時を越えて演奏した。

**岡崎市スクールバンド協議会長
鈴木聰一氏**

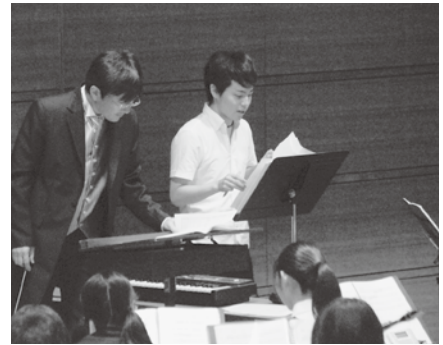
岡崎市は、NHK大河ドラマ音楽担当の富田勲氏が、子供時代を過ごした地として有名です。また家康公を讃えた「葵の誉」や日本を代表する国文学者の清水孝之氏によって作詞された「岡崎讃歌」など、郷土を大切にした音楽が息づく街です。そんな岡崎に関わりの深い音楽を岡崎の子供たちが演奏することに意義があると思ひ、取り組んできました。

市制施行一〇〇周年記念の吹奏楽祭では、来場者に喜んでもらうだけでなく、演奏する子供たちがやりがいをもって取り組んでくれるような企画を考えました。これからも、吹奏楽を通して子供たちの心を豊かにしていきたいと思ひます。

吹奏楽祭



▲ ヴァンデルロースト氏による指導



▲ 山中氏による指導



▲ 小・中・高生が一緒に演奏する合同バンド

例年9月に開催される吹奏楽祭では、各校による演奏だけでなく、小・中・高校生による合同バンドが結成され、演奏を披露している。

第50回の記念事業では、著名なベルギーの作曲家であるヤン・ヴァンデルロースト氏による指導、岡崎市出身の山中惇史氏作曲による記念曲の初演が行われ、子供たちにとって特別な経験となっている。

地域を盛り上げる吹奏楽



▲ 六ツ美商工まつり (六ツ美中)



▲ 学区運動会 (井田小)



▲ 花のとう (矢作北中)



▲ 悠紀齋田 お田植えまつり (六ツ美北中・六ツ美中)



▲ 学区敬老会 (竜美丘小)



▲ 町おこしイベント (甲山中)



● 教育研究所だより

二期期の準備に
夏期休業日の間、例年多くの小学校の先生たちが、学芸会の準備のために教育研究所を訪れます。

教育研究所内にある視聴覚資料室には、平成元年以降に各小学校で演じられた脚本を収蔵しています。そのうちの平成十四年度以降のものについては、各学校のパソコンのOKリンクからも検索することができます。

さらに、視聴覚資料室には、平成二十二年以降の学芸会のDVDも収蔵されています。脚本を手に取り、実際の演技を視聴しながら、今年の劇などを検討することができます。夏期休業中は利用者も多く、混む日もあります。早めの学芸会の準備をおすすめします。

また、教育図書室には、新たに二七六冊の図書が入りました。二期期の指導に教育研究所を御活用ください。



▲ 脚本とDVDの検討

● 三大陸国際理解教育事業

1 概要

本年度より、「岡崎市中学生姉妹・友好都市交流事業」を発展的に継承し、新たに「中学生三大陸国際理解教育推進事業」を開始します。この事業では、アメリカ・ニューポートビーチ市、スウェーデン・ウッデバラ市に、オーストラリアを訪問地として加え、英語を活用できる国で、生活体験を通して、英語のコミュニケーション能力の向上と国際理解の推進を目指します。どの学校も三年間で三か国との相互交流を図ります。本年度は、アメリカとスウェーデン

との派遣・受入を行います。六月末には、ニューポートビーチ市の中学生が来岡し、中学校生活や家庭生活、日本の文化を体験していただきました。ウッデバラ市からの訪問団については、十月末に来岡の予定です。また、九月末には岡崎の中学生が二都市を訪問する予定です。オーストラリアについては、来年度の中学生派遣を見据え、教員二名を現地に派遣する予定です。

2 日程

- ・ニューポートビーチ市
派遣 9/28(水)～10/6(木)
受入 6/28(火)～7/4(月)
- ・ウッデバラ市
派遣 9/28(水)～10/6(木)
受入 10/20(木)～11/27(木)



▲ ニューポートビーチ市使節団 市長表敬訪問



▲ H28年度 岡崎市派遣団員

姉妹都市 ニューポートビーチ市				
団長	福岡小学校長 鈴木 実俊	副長	翔南中学校教諭 星井 令子	
団員	甲山中学校3年 廣瀬 拓人	団員	北中学校3年 内田 悠雅	
団員	竜海中学校3年 四之宮 萌	団員	額田中学校3年 兵藤 柚花	
団員	城北中学校3年 蘆田 莉果	団員	翔南中学校3年 宮田 春紀	
団員	新香山中学校3年 原田 笑美			
姉妹都市 ウッデバラ市				
団長	河合中学校長 宇都宮森和	副長	男川小学校教諭 都築真美子	
団員	美川中学校3年 鈴木 吟斗	団員	矢作中学校3年 金子 花ほ	
団員	南中学校3年 細井 柊那	団員	矢作北中学校3年 三浦 海人	
団員	福岡中学校3年 坂 拓実	団員	六ツ美北中学校3年 羽根田 琴	
団員	常磐中学校3年 玉澤 駿弥			

● 表彰

◆ NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

○ 朗読部門

優秀 (全国大会出場)

北中 杉浦 朱音

北中 鈴木佐和衣

○ ラジオ番組部門 (団体)

優秀 (全国大会出場)

六ツ美北中学校

北中学校



▲平成27年度 基礎編 (図工・美術)

今年度も、夏季休業中に授業力・教師力アップセミナーが開催される。「基礎編」については、下の表のように、二十の研修会が設けられている。各教科・領域の基礎的な知識や技能を習得したり、授業を適切に進めたりする力が高まることを目的としている。「応用編」は、「岡崎市免許状更新講習」の選択講習として行っている。今年度は、八月三日、四日、五日の三日間にわたり、二十八の講座が設定されている。

なお、「応用編」については、開講式の時間は、全て八時五十分である。

●授業力教師力アップセミナー

◆平成28年度授業力・教師力アップセミナー【応用編】

【8月3日(水)】		
講習名	会場	講師名
小学校国語科教育	総合学習センター2F 教育研究室2	熊谷 清一
中学校社会科教育	総合学習センター2F 教育研究室3	山内 貴弘
小学校算数科教育	総合学習センター2F 教育研究室1	稲垣 祐嗣
中学校理科教育	総合学習センター3F 教材開発室2	山本 則夫
小学校音楽科教育	上地小学校 音楽室・図書室	柴田 知子
小学校図画工作科教育	子ども美術博物館 視聴覚室	赤崎 類子
小学校体育科教育	根石小学校 体育館・図書室	宇都木靖弘
中学校技術科教育	新香山中学校 木工室・パソコン室	近藤 善紀
中学校英語科教育	総合学習センター3F 教材開発室1	伊奥田美智代
※健康教育	総合学習センター2F 小ホール	鈴木 明
【8月4日(木)】		
講習名	会場	講師名
中学校国語科教育	総合学習センター2F 教育研究室3	磯村 彰久
小学校社会科教育	総合学習センター2F 教育研究室2	石原 真吾
中学校数学科教育	総合学習センター3F 教材開発室2	加藤 嘉一
小学校理科教育	総合学習センター2F 教育研究室1	岡 秀之
中学校音楽科教育	矢作中学校 音楽室・図書室	酒井 洋一
中学校美術科教育	子ども美術博物館 視聴覚室	安藤 眞樹
中学校保健体育科教育	根石小学校 体育館・図書室	野田 豊
小・中学校家庭科教育	梅園小学校 家庭科室・図書室	荒井 留美
小学校外国語活動	総合学習センター3F 教材開発室1	山本 和代
※保健室と養護教諭(養護教諭対象)	総合学習センター2F 教育研究室4	河合 美保
*幼児教育(幼小教諭、保育士対象)	総合学習センター2F 小ホール	本間 和代
【8月5日(金)】		
講習名	会場	講師名
道徳教育	総合学習センター3F 教育研究室1	清水 良隆
特別活動・学級経営	総合学習センター2F 教育研究室3	鈴木 誠
生活科・総合的な学習	総合学習センター2F 教材開発室2	堺 正司
情報教育	井田小学校 パソコン室	本間 茂夫
※発達障がい児の理解と支援	総合学習センター2F 小ホール	紀平 高之
※生徒指導	総合学習センター2F 教育研究室2	永野 光雄
※保健	総合学習センター3F 教材開発室1	浦野 公一

◆平成28年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】

月日	教科・領域	場所	開講式 閉講式
8/8	国語・書写	消防本部講堂	9:00 12:10
8/8	社会	和志取神社 和志山古墳 総合学習センター(教育研究室1)	9:00 15:00
8/8	算数・数学	竜美丘会館(501号室)	9:15 11:40
8/9	理科	美合小学校(理科室)	9:00 12:00
8/9	生活	総合学習センター (教育研究室2)	9:15 11:50
8/8	総合的な学習の時間	総合学習センター (教育研究室2)	9:10 12:00
8/9	音楽	総合学習センター (小ホール 教材開発室1・2)	9:15 12:00
8/9	図工・美術	おかざき世界子ども美術博物館 (視聴覚室)	9:30 12:00
8/9	保健体育	井田小学校(体育館)	9:00 12:00
8/8	技術・家庭科 -技術分野-	城北中学校	9:30 11:50
8/9	技術・家庭科 -家庭分野-	総合学習センター (教育研究室3)	9:15 12:00
8/8	家庭科(小学校)	梅園小学校(家庭科室)	8:50 12:45
8/9	英語	南部市民センター分館 (体育集会室)	9:30 16:00
8/8	道徳	ぬかた会館	9:15 11:50
8/8	特別支援教育	総合学習センター (小ホール)	9:15 14:00
8/8	学習情報	新香山中学校 (パソコン室)	9:00 16:00
8/9	学校図書館	岡崎市図書館交流プラザ (りぶらホール)	9:30 11:40
8/8	学校保健	竜美丘会館(末広)	13:30 15:55
8/9	生徒指導 (問題行動)	総合学習センター (教育研究室1)	9:10 11:40
8/8	生徒指導 (不登校)	岡崎市教育相談センター	9:15 11:45

- 個人
優勝 竜海中 上條 深能
- ◆愛知県中学生相撲大会
光崎 巧・鳥居 寛士
- アナウンス部門
入選 北中 兵藤瑛美莉
- ◆愛知県中学生ソフトテニス選手権
優勝 矢作中
- テレビ番組部門(団体)
優秀(全国大会出場) 新香山中学校
- 入選 新香山中学校

・カ
ツ
ト
愛宕小
川村たくみ

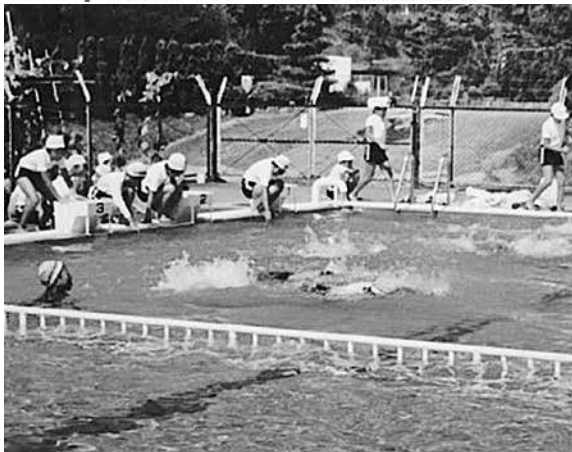
着衣泳 (平成3年)

写真提供：竜谷小学校

平成三年夏に行われた、体操服を着たままプールで泳ぐ着衣泳の様子である。このときの様子は、NHKニュースで放映されている。

竜谷学区には、春は桜、夏には蛍が見られる自然豊かな竜泉寺川が流れている。こうした河川をはじめ、貯水池などにおける水難事故防止に向け、着衣泳の体験が求められるようになった。以降、市内の多くの小学校で、着衣泳の授業が行われている。

夏季は、河川水難事故の発生件数が最も多い季節である。命にかかわる重大な事故が起きないよう十分過ぎるほど指導し、子供たちの命を守らなければならない。



トランペットの華やかな音色に、迫力ある打楽器のリズム。毎年、文化祭で披露される吹奏楽部の演奏が体育館の空気をいつそう熱くさせる。

音楽が大好きという部員の気持ちだが、表情からも会場に伝わる。吹奏楽で輝く子供たちの姿をこれからも大切にしたい。

どホ

葉目



(シオカラトンボ)

頬に滴る汗が輝いている。最後の大会を終え、引退した部員たちが後輩の指導にきている。

暑くて辛い練習だったはずなのに、引退してからも毎日顔を見せに来る。今の自分に何ができるかを考え、実行する子供たちの姿は尊い。

ホツ

次々と襲いかかる試練に、心が折れそうになるときがある。しかし、そんなときこそ自分が試されていると前を向くことで、人としての成長があるはずだ。

本気になるほど、ぶつかる壁は多いのだろう。それでも真剣であり続ける尊さを、改めて感じている。



* 「タレント」の時代
世界で勝ち続ける企業の人材戦略論 酒井 崇男
講談社 ￥880

心に残った一文
なぜグーグルは強いのか？これらの答えを一言でいうと、「タレント」が活躍できる企業だから。

企業の利益を生み出すような新商品を開発できる優れた人材のことを「タレント」と著者は言う。何の業績も資産もない小さなベンチャー企業でも何十億という値段で大企業に買収されている。それは、その会社にいるタレントの値段である。

なぜトヨタやアップル社の製品は世界中で売れ続けているのか。これは、「タレントが活躍できる企業だから」である。つまり、タレントがいるだけではだめで、タレントを生かす仕組みがなくてはならないのだ。

本書は、人を活かすという、学校経営、学級経営にも参考になる一冊である。

*使ってはいけない日本語 宇野 義方 ￥1,300
河出書房新社
*教師の心が折れるとき 井上 麻紀 ￥1,500
大月書店
*ほめると子どもはダメになる 榎本 博明 ￥720
新潮社

矢作南小 鳥居 是典